



ス  
ポ  
ー  
ツ  
詩  
集  
\*  
目  
次

江苏工业学院图书馆  
藏书章

# 1 格闘技

## ・ラグビー

ラグビー 堀口大學 14

ラグビー 竹中 郁 16

インジュリータイム 川崎 洋 21

## ・サッカー

サッカーによせて 谷川俊太郎 23

サッカー 藤富保男 25

## ・アイスホッケー

世界一醜い男のためのオード 柏木義雄 28

## ・相撲

はら 八木幹夫 32

## ・プロレス

い 高階紀一 34

## ・柔道

質問 高階杞一 36

・ボクシング

カウント 川崎 洋 39

拳闘 村野四郎 40

2 陸上競技

・走高跳び

足 川崎 洋 44

・棒高跳び

棒高跳び 村野四郎 46

・やり投げ

槍投 村野四郎 48

・ハンマー投げ

鉄鎚投 村野四郎 50

・ハードル

ハードル・レース 北川冬彦

高障害 村野四郎 52

ハードル・トレーニングの一日 大園由美子 53

●競走

競走 松下育男 55

プログラムⅠ 木野まり子 58

走る 川崎 洋 60

競走 村野四郎 61

バトン 石川逸子 62

走る人 沢口信治 64

ジョギングの唄 川崎 洋 65

●長距離走

ロードレース 岩本 隼 67

ゴールⅡスタート 岡本 潤 69

最後の選手 菅原克己 73

マラソン 尾花仙朔 75

3 天高く

・グライダー

空へ 谷川俊太郎 80

グライダー 松下千里 81

・ゴルフ

ゴルフ エリック・サティ 藤富保男訳

84

・運動会

運動会 大橋政人 85

・トランポリン

トランポリン 神尾和寿 88

4 躍動

・体操

吊環 村野四郎 92

鉄鉏鈴 村野四郎 93

鉄棒 村野四郎 94

てつぼう まど・みちお 95

体操 村中秀雄 96

体操 村野四郎 97

・テニス

テニス エリック・サティ 藤富保男訳 99

テニス 竹中 郁 100

・バドミントン

バドミントン 谷川俊太郎 101

・弓道

離心 森野満之 103

・バスケットボール

宿酔 中原中也 105

5  
随感

柔道 栗津則雄 108

体操 続・体操 村野四郎

111

野球の面白さ 筏丸けいこ

117

ナイターの灯 安西冬衛

120

若返り法 北川冬彦

123

ピンポンではない 谷川俊太郎

125

高校野球監督に一度は成ってみなければ 長谷川龍生

127

ぼくとサッカー 藤富保男

132

初めて6人制バレーを知ったのは横須賀ベース 川崎 洋

142

## 6 水と共に

### ・水泳

飛込 村野四郎

148

飛込 村野四郎

149

プールサイドで 日原正彦

150

### ・ヨット

ヨット ウィリアム・カールス・ウィリアムズ 鍵谷幸信訳

153

ヨット 阪本越郎 156

## 7 野球

### ・野球

ピッチャー 阿部恭久 160

球あそび 清岡卓行 162

野球少年の憂鬱 寺山修司 167

王貞治が6番を打つ日 長谷川龍生 172

没落する代打者 清水哲男 180

大漁旗に向かって打て 宇野 勝(中旦) 寛 楨二 181

夏の守備 高階杞一 183

位置 杉山平一 187

心外 天野 忠 188

ベース・ランニング 中村不二夫 189

スピットボール投手 フレッド・チャペル 平出 隆訳 191

8 シーズンを迎えて

・登山

山に登る 萩原朔太郎 194

登攀 秋谷 豊 195

ハーケンの歌 秋谷 豊 197

岩壁登攀 田中清光 198

・スキー

翼なき者の飛翔 谷川俊太郎

スキー 村野四郎 202

雪原の鳥 磯村英樹 204

雪の山 山本太郎 206

・フィッシング

釣行 伊藤桂一 214

釣り 城 侑 215

アジ 川崎 洋 217

館長さんの休日 高橋順子

219

フライ振る みづき みづ

220

溪とジャズと木苺 中上哲夫

222

・スケート

氷上戯技 高村光太郎

225

スケートの歌 北川冬彦

226

あとがき 川崎 洋・藤富保男・高階紀一

229

著者別収録作品索引

240

ス  
ポ  
ー  
ツ  
詩  
集



# 1

## 格闘技

ラグビー

サッカー

アイスホッケー

相撲

プロレス

柔道

ボクシング

ラグビー

ラグビー

堀口大學

1

華<sup>は</sup>美<sup>で</sup>な横縞のカモフラアジ  
彼等は空氣より身輕になった

2

ゴールの磁石が吸い寄せる  
明るい鉄片が

3

空氣の中を流動する  
第二の斑<sup>しまりま</sup>驢<sup>ろ</sup>が  
かぶりつく

第一の斑驢が

ボールを吐き出す

4

煙けむりのように流れる

斑驢の一群

中の一びきが

ボールに化けて

5

不味まずそうに

ボールを吐き出す斑驢

美味うまいそうに

ボールを呑みこむ斑驢

6

胴体ばかりで

球を追う幽霊達

脚は空気に溶けて

7

あのシャツは毛糸ではないよ  
軽金属の緋おどしの鎧だよ

8

笛の音に

慕いよる斑驢には

レフリーの手が

ボールを食べさせる

(詩集『人間の歌』所収)

## ラグビー

アルチュウル・オネガ作曲

竹中 郁

1 寄せてくる波と泡とその美しい反射と。